

平成 21 年度予算概要説明

資金収支予算について

1. 資金収入の概要

- (1) 学生生徒等納付金収入の前年度予算比 3.1%増は、
学部学生数 3,975 名(前年 10 月末比 14 名) 新入生 1,000 名を基に計上したが、
施設設備費について、20 年度に続き 21 年度も改定を実施することにより約 1 億 2 千
万円の増加が見込まれることが、主なものである。
- (2) 手数料収入の前年度予算比 16.3%増は、
入学検定料を、20 年度実績見込み約 1 億 1,800 万円に対し、1 億円(前年度予算比
+1,500 万円)にて計上したものである。
- (3) 寄付金収入の前年度予算比同額としたが、うち
- | | |
|-------------------------------|--------------|
| 特別寄付金にて、設立 4 宗団からの 90 周年記念事業費 | 4,000 万円 |
| 一般寄付金にて、設立 4 宗団からの経常費 | 1 億 6,000 万円 |
| 新入生寄付金 | 2,400 万円 |
| その他の寄付金にて、ティー・マップからの | 5,000 万円 |
- が主なものである。
- (4) 補助金収入は、前年度予算比ほぼ同額とした。
- (5) 資産運用収入の前年度予算比 8.3%減は、
受取利息にて、大学整備引当特定資産(社債)への運用停止及び取崩 2 億円によるも
のである。
- (6) 事業収入は、前年度予算比ほぼ同額であり、出版会の書籍売上が主なものである。
- (7) 雑収入の前年度予算比 3.8%減は、
私立大学退職金財団からの交付金減が主なもので、退職者減(教職員 16 名 11 名)
によるものである。
- (8) 前受金収入は、新入生数を前年度比同数(1,000 名)としたことにより、前年度予
算比同額とした。
- (9) その他の収入は、退職金、施設設備費等の支払資金あるいは社債等の運用に係わる
資金を、各々の特定預金から振替入金とするものである。
- (10) 資金収入調整勘定は、各収入科目のうち本年度において資金の受入れがないことを
示す控除調整科目である。

このようにして、前年度繰越支払資金を加えた資金収入の部合計は、106 億 1,718 万
6,847 円となり前年度比 10 億 2,287 万 2,975 円減(8.8%)となった。

2. 資金支出の概要

(1) 人件費支出は、前年度予算比 0.8% の減である。

教員人件費の約 3,900 万円増は、うち約 3,500 万円が学生確保の観点から、プロダクト型の新履修コースを開設したことに伴うものである。

(2) 教育研究経費支出は、前年度予算比 9.8% 増である。

平成 21 年度に実施する新規事業について、予算検討委員会を設置し、十分な検討、審議を行った結果、21 年度教育研究関係の新規事業（各部署毎）は、

イ) 学務システムの機能強化	1,400 万円
ロ) 教育力調査（本学卒業生に対する本学の教育力調査）	309 万円
ハ) プロダクト型履修コースの運営費	405 万円
ニ) キャリアアプローチ（3 年生対象の意識調査）の実施	200 万円
ホ) 学生満足度調査	525 万円
ヘ) キャリア教育研究所本格稼働に伴う各事業委託費	2,500 万円
ト) 出版会の新規出版 6 件	1,128 万円
チ) 学生証の IC カード化	1,125 万円

が主なものである。

(3) 管理経費は、前年度予算比 5.4% 減である。

各部署の、経費の見直しを行った結果によるもので、殆どの科目において前年度予算比マイナスとなった。

特筆すべきものとして、主に事務職員を対象とした、能力向上の為の研修会委託費用 500 万円を計上した。

(4) 借入金返済支出は、5,000 万円である。

銀行との約定通り平成 21 年 9 月 30 日に 5,000 万円の返済をもって、図書館棟建築資金 10 億円（平成 12 年借入）の借入金が完済となり、無借金経営法人となる。

(5) 施設関係支出は、総額で約 24 億 6,687 万円となる。

建物支出約 3,887 万円のうち、学生生活上の環境整備関係に 3,719 万円
建設仮勘定支出 24 億 2,800 万円は、新教育・研究棟関係に 20 億 700 万円
新クラブ練習棟関係に 4 億 2,000 万円

が主なものである。

(6) 資産運用支出は、退職金等の支払資金の振替入金、各引当特定預金・資産への積上げ、運用が主なものである。

イ) 退職給与引当特定預金・資産において

退職金支払資金	9,400 万円
積上げ	5,000 万円

が主なものである。

なお、本件積上により退職給与引当金に対する預金・資産のカバー率が 100% となる。これについては、過年度実施された「大学基準協会による第三者評価」において、21 年度に無借金化とあわせて約束したものであり、約定通りとなる。

ロ) 大学整備費引当特定預金において	
施設関係支出	4 億円
積上げ	2,000 万円
が主なものである。	

以上、その他の支出、資金支出調整勘定を加減後の次年度繰越支払資金（手持現預金）は、23 億 5,640 万 8,573 円にて、前年度予算比 17 億 9,818 万 9,274 円減（ 43.3% ）となる。

消費収支予算について

消費収支計算書は、当該会計年度における消費収支の均衡状態とその内容を明らかにし、学校法人の経営状態が健全であるかどうかを示すもので、計算目的に違いはあるが、いわば企業会計の損益計算書に当るものである。

1. 消費収入の概要

帰属収入（学校法人の負債とならない収入）のうち、学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金、資産運用、事業及び雑収入の予算額は、資金収入予算額と同額である。各科目の帰属収入に対する割合は、次の通りである。

- ・学生生徒等納付金 80.7% ・手数料 2.3% ・寄付金 6.7% ・補助金 7.4% ・資産運用 0.8%
- ・事業収入 0.2% ・雑収入 1.9%

帰属収入の合計は、47 億 7,999 万 9,000 円で、前年度予算比 2.7% 増となる。

従って、帰属収入から基本金組入額を控除した消費収入の合計は 22 億 6,299 万 9,000 円となり、前年度予算比 22.2% 減となる。

2. 消費支出の概要

消費支出の合計は、47 億 2,095 万 9,016 円で、前年度予算比 4.5% 増となる。

前年度予算比約 2 億円増となるが、これは新クラブ練習棟建築のための 6 号館取り壊しによる、固定資産処分差額 1 億 2,500 万円が加わったことが主なものである。

人件費は、24 億 7,600 万 2,575 円で支出総額の 52.4% を占める。（帰属収入比 51.8%）

教育研究経費は、14 億 9,449 万 2,923 円で支出総額の 31.7% を占める。

（帰属収入比 31.3%）

管理経費は、5 億 7,991 万 8,279 円で支出総額の 12.3% を占める。

（帰属収入比 12.1%）

3．消費収支差額

以上の通り、消費収入総額 22 億 6,299 万 9,000 円に対し消費支出総額は 47 億 2,095 万 9,016 円であり、従って平成 21 年度消費収支差額として 24 億 5,796 万 16 円の消費支出超過となる。

4．帰属収支差額および手元余裕資金増減について

帰属収支差額は、一般企業の損益計算書にあたるもので、

帰属収入 47 億 7,999 万 9,000 円 - 消費支出 47 億 2,095 万 9,016 円にて算出、結果として約 5,904 万円の黒字となる。

手元余裕資金増減について

帰属収支差額 5,903 万 9,984 円+減価償却 3 億 9,100 万円+固定資産処分差額 1 億 2,500 万円にて算出、結果として約 5 億 7,504 万円の資金余裕を持つこととなる。

以上